

国際知財司法シンポジウム2024

令和6年10月24日及び25日に、「国際知財司法シンポジウム2024～日米欧における知的財産紛争解決～」が弁護士会館講堂クレオにて開催されました。

本シンポジウムは、経済のグローバル化の中で各国のルールの調和の要請が強い知的財産の世界において、国際的な動向や課題を適切に把握し、各国が互いの法制度や審理運営の在り方について知識や理解を深める重要な機会として好評を得てきました。

8回目となる今回のシンポジウムでは、英国を含む欧州、米国の裁判官など知的財産分野の専門家を招き、活発な議論が行われました。会場での観覧のほかインターネット同時配信によるオンライン視聴も実施し、2日間で会場では延べ約330人、オンライン視聴では延べ約690人の方に御覧いただきました。



開会挨拶を行う安浪最高裁判事



英国の模擬裁判の様子

1日目の裁判所パートでは、「侵害訴訟における特許有効性の審理判断」をテーマとした日本、欧州（欧州統一特許裁判所控訴裁判所）、米国及び英国の裁判官による模擬裁判に続き、「裁判所における特許有効性の審理等について」をテーマとしたパネルディスカッションが行われました。

2日目の特許庁パートでは、「各庁における審判の最新動向、特許庁と裁判所との関係」をテーマとした日本特許庁、米国特許商標庁及び欧州特許庁による講演に続き、日本特許庁による模擬口頭審理、「口頭審理、進歩性等の判断」をテーマにした日米欧によるパネルディスカッションが行われました。



パネルディスカッションの様子

令和5年6月に欧州統一特許裁判所が執務を開始した欧州を始めとする各国・地域の最新の動向や実情、日本及び諸外国の知的財産司法制度等に関する情報を共有することにより、相互理解や国際調和につながる貴重な機会となりました。

講演資料等（裁判所パート）は
こちらから確認できます。

知的財産高等裁判所ウェブサイト

<https://www.ip.courts.go.jp/jsip/index.html>



本シンポジウムのアーカイブ動画は、
YouTubeで公開中！

https://www.youtube.com/channel/UC8e_LoV04a5G254ry87EaoQ

